

平成30年度 検索エキスパート研修[特許]実施報告

平成31年4月

平成30年度、独立行政法人工業所有権情報・研修館では、検索エキスパート研修[特許]を3回実施いたしました。
本研修は先行技術調査の業務に従事すること等により、特許法についての十分な知識を有する者を対象とし、先行技術調査能力を一層向上することにより、出願及び審査請求の適正化に資する人材の育成を目的にしている研修です。

1. 研修の概要									
(1)日程	第1回			第2回			第3回		
	6月26日～29日			12月4日～7日			平成31年3月12日～15日		
(2)開催地	東京都			東京都			東京都		
(3)申込人数	51名			27名			20名		
(4)参加人数 (分野別内訳)	50名			26名			20名		
	機械	化学	情報通信	機械	化学	情報通信	機械	化学	情報通信
	18名	16名	16名	11名	8名	7名	8名	8名	4名
(5)講師	8名			8名			8名		
2. アンケート結果									
(1)研修全体として	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
・非常に知識や能力が向上した (非常に有意義であった)	17名	38%	12名	63%	8名	53%			
・知識や能力が向上した (有意義であった)	27名	60%	7名	37%	7名	47%			
・あまり知識や能力が向上しなかった (あまり有意義ではなかった)	1名	2%	0名	0%	0名	0%			
・知識や能力が向上しなかった	0名	0%	0名	0%	0名	0%			
・無回答	4名	—	7名	—	5名	—			
(2)主な意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・分類について本質的な点をじっくり学ぶことができ、とても有意義だった。 ・特許庁審査官の考え方がわかり、今後の検索業務に生かすことができる。 ・グループディスカッション後に発表があり、十分な議論ができ良い情報交換ができた。 ・検索式の注意点、Fタームの理解等、非常に良く分かった。 ・進捗性に対する審査官の具体的な思考プロセスが理解できた。 ・先行文献調査実務について体系的に知ることができた。 ・FI、Fターム、IPCの基本を知ることができ、有意義であった。 ・検索インデックスについて一通り学ぶことができた。また、各インデックスがどういう経緯で変遷してきたのか、具体的な話を伺えた。 								
(3)アンケート回収率	49名	98%	26名	100%	20名	100%			